

NO.	投票対象提案名	ご意見の内容
1	アルクマと県内周遊を楽しもう	県内各市町村のキャラクターともコラボしていただき、より楽しく周遊できる仕組みにしていきたいと思います。 例えば、冊子に各地のキャラクターを掲載したり、スタンプの絵柄を各地のキャラクターにするなど。
2	地域送迎の安全認証を広げよう	高齢で運転ができなくなった方の移動を補助する制度が必要だと思います。 自動運転の社会実装にはまだ時間がかかると思うので、準公共交通機関的な移動手段が安心かつ手頃な料金で利用できると良いと思います。
3	企業とともに里親家庭を支えよう	1 事業名を里親里子サポート企業・団体→NAGANOに変更する。理由：里子へのサポートも期待できる。（例：18歳以降の自立後のサポート、卒業・入学を祝う会、音楽会、観劇、スポーツイベントへの招待、実親との交流支援・場の提供等、宿泊等の割引、大学等の入学金・授業料の減免や優先入寮、ほしいものリストへの自社物品提供） 理由：企業だけでなく広く団体も登録できるようにする。 2 実施企業の事例を広報する。例：ルートインホテルズ（奨学金） 3 民間企業が里親研修やマッチングのため従業員に休暇を与えた場合、その企業に県費で補助金を支給する。 4 里親里子のために無理なくできることで応援していただませんかと入口を広くして、その企業団体の理解が深まったら最終目的である従業員共働き里親への支援が得られるように徐々にお願いしていく。
4	企業とともに里親家庭を支えよう	まずもってなぜ企業の里親支援ということとしたのか、明確な説明が必要と考えます。私の考えとしては、一つは企業が雇用する社員が里親になりやすい職場環境作りがまず必要と考えます。これは子育てしやすい職場環境づくりと相似形です。育休的な支援制度を企業独自に設けられるかが大きいと思います。この上で、企業内で社員に対して里親への理解を深める研修を実施することが大切です。また、企業の商品を里親家庭に提供することも大切な支援だと考えます。
5	制度全体	どの提案に意見を寄せたいというわけではありませんが… みらいスイッチ、初めて見ましたが、民意を反映させ、その結果まで興味を持って追っていき、非常に素晴らしい取り組みだと思います。 細かい指摘ですが、一つだけ気になった点があり、一県民の意見として把握していただければ幸いです。 提案されたものは、ある程度、分類できると感じました。分野のような横の軸での分け方ではなく、優先度や県民の生活への直結度といった縦の軸での分け方です。 例えば、アルクマpassportは、楽しそうで有ったらワクワクするような取り組みです。 一方で、「企業とともに里親家庭を支えよう」のような提案は、里親家庭やそこで暮らす子どもたちが抱える困難を軽減し、生活環境をより良いものにするという、福祉政策や生活基盤的政策としての性質が強いものだと思います。 もちろん、観光や地域振興も、地域経済や文化を支える重要な政策だと思います。 ただ、性質の異なる提案をすべて同じ条件で並べ、「実現してほしいもの」を単純な得票数で決める場合、どうしても「楽しそう」「自分も参加してみたい」と感じやすい提案と、特定の当事者にとって非常に重要であっても、当事者以外にはその重要性が伝わりにくい提案とでは、票の集まり方に違いが生じるのではないかと思います。 政策によっては、恩恵を受ける人が少数である＝その政策の重要性が低い、わけではありません。 もし今後この制度を継続・発展させていくのであれば、例えば「基盤的政策or発展的政策」「県民生活への直結度」「緊急性」「対象となる人への影響の大きさ」「長期的な波及効果」など、政策としての性質を示す情報も併せて提示していただけると、県民がより多角的に考えたうえで投票できるのではないかと思います。 また、最終的な投票結果だけでなく、県が各提案についてどのような観点から実現可能性や優先度を判断したのか、その過程も公表していただければ、「自分たちの一票が県政にどうつながったのか」を県民がより実感できる制度になるのではないかと思います。